

令和4年度 登米市 水道事業 会計決算の概要

1 決算規模

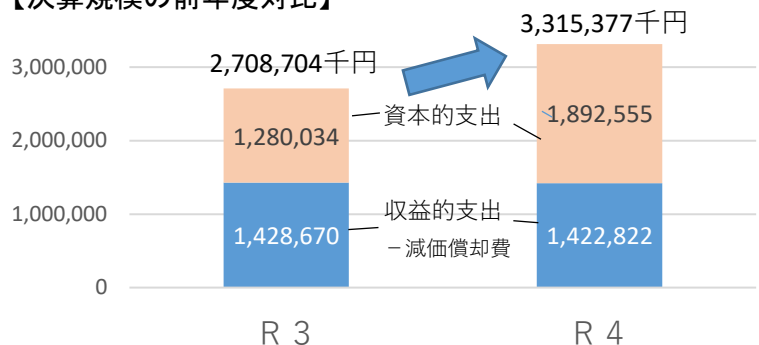
33億1,537万7千円

(= 収益的支出 - 減価償却費
+ 資本的支出)

※前年度比 約6億667万円の増

⇒令和3年度からの繰越事業の増加
(約5億3千万円) 等による建設改良費の増加などによるもの

【決算規模の前年度対比】

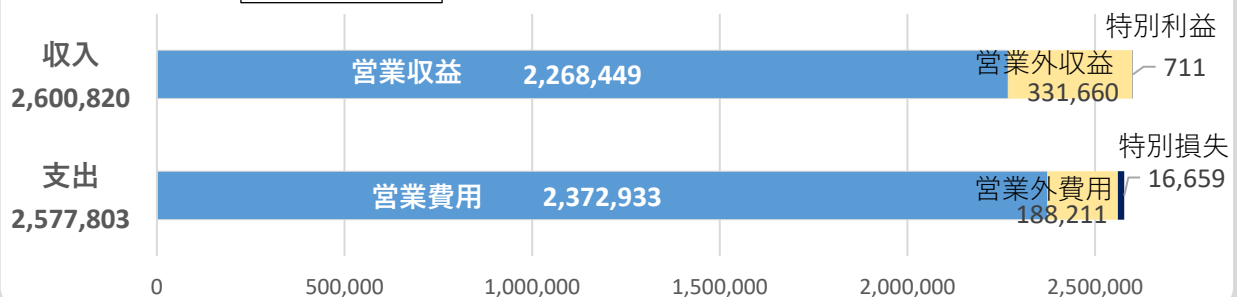


2 予算執行状況 (消費税込み)

【収益的収支】

決算書P6・7

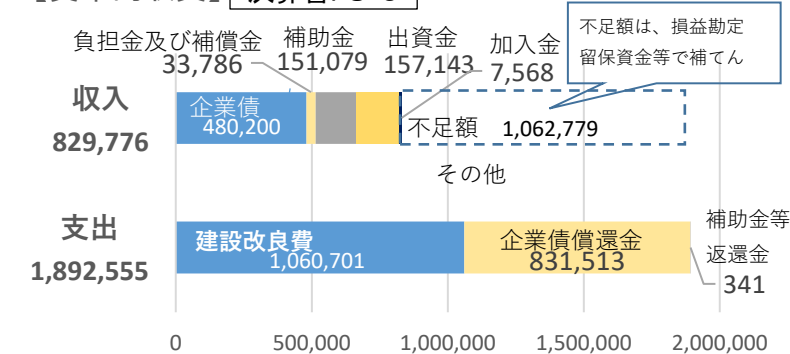
(単位:千円)



【資本的収支】

決算書P8・9

(単位:千円)



※ 主要事業

- ・ 水道料金改定の決定
- ・ 保呂羽浄水場再構築事業の請負者の決定
- ・ 管路緊急改善事業による老朽管の更新等を実施

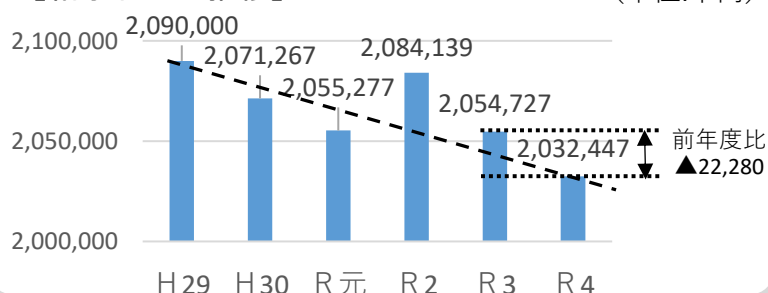
3 経営状況 (損益詳細 消費税抜き)

決算書P13

(1) 営業収益 2,065,205千円 (前年比 △21,621千円)

【給水収益の推移】

(単位:千円)



給水収益

当年度も給水人口の減少などに伴い減少に転じた

- ・ 人口減少による影響
▲1,377人 ▲37,826千円

手数料収益は減、他会計負担金は増

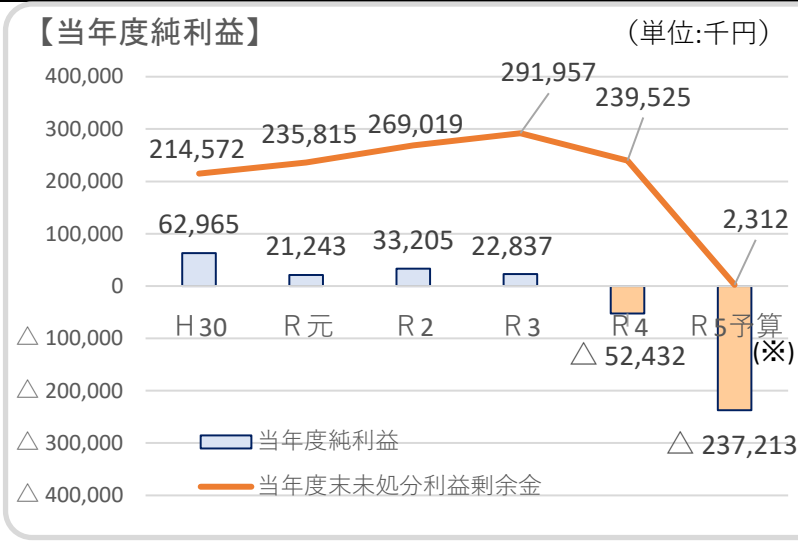
(2) 営業費用 2,279,967千円 (前年比 33,145千円)

原・浄水施設及び配水施設の動力費の増 (40,134千円) が主因

(3) 営業利益 △214,762千円 (前年比 △54,766千円)

《主な増減要因》

(4) 営業外収益	326,002千円	(前年比 △ 31,612千円)	長期前受金戻入等の減
(5) 営業外費用	149,035千円	(前年比 △14,341千円)	企業債利息の減
(6) 経常利益	△37,795千円	(前年比 △72,037千円)	
(7) 特別利益	689千円	(前年比 358千円)	過年度長期前受金戻入等の増
(8) 特別損失	15,326千円	(前年比 3,590千円)	R4.7月大雨による災害復旧費等の増
(9) 当年度純利益	△52,432千円	(前年比 △75,269千円)	

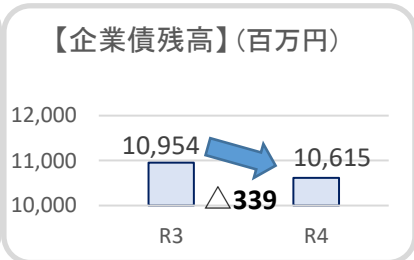
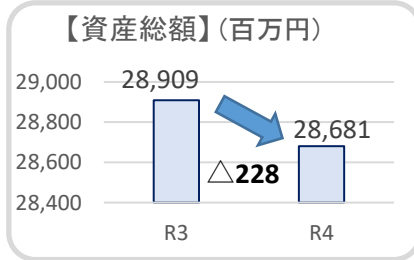


※純利益が前年比75,269千円減
 ・人口減少等による給水収益の減、浄水、配水施設の動力費の増などにより純利益は減少傾向
 ・当年度未処分利益剰余金は239,525千円となったが、令和5年度の予定損益で純損失237,213千円を見込んでいるため、剰余金の処分は行わない。
 (※)R5.9月補正後予算ベースのため、料金改定による増収の影響を含む

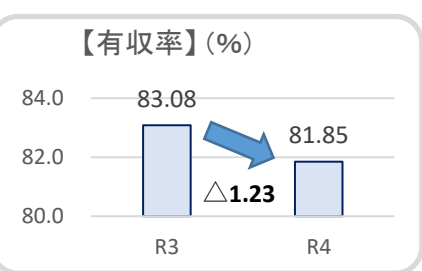
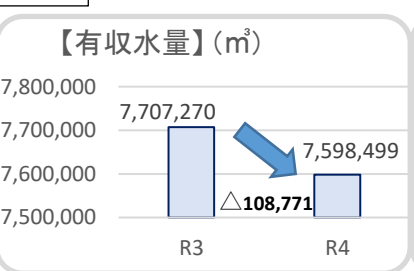
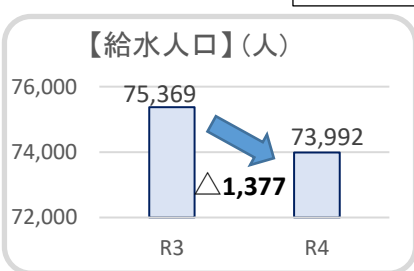
・最終予算における予定損益計算書より純損失が84,486千円減少。主な要因は、修繕費等(31,722千円)、臨時損失(10,559千円)、予備費(19,788千円)の減

4 財務諸表の調整

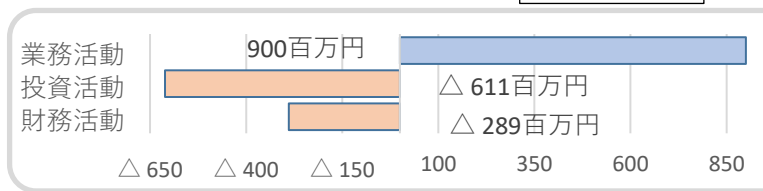
- (1) 損益計算書 **決算書P13** 当年度純利益△52,432千円、当年度末未処分利益剰余金239,525千円
- (2) 剰余金計算書 **決算書P14・15** 他会計繰入金(出資金)157,143千円を資本金へ繰入など
- (3) 貸借対照表 **決算書P16・17** 資産の減価償却の進行により、前年度比228,181千円減少



(4) 事業報告 **決算書 P36・37**



(5) キャッシュ・フロー計算書 **決算書 P46**



業務活動で資金が得られ、かつ借入金残高を減少させながら建設投資が行われており、比較的安定した経営状況。資金期末残高2,686百万円(前年比0百万円)